（一） 昭和32年6月17日（月曜日） 第2138号 常磐毎日新聞 （昭和30年1月22日 第三種郵便物認可） 夕刊 （日曜、祭日休刊）

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部 1,269

呉服 服地 歌舞伎 ゆかた 武者印 かや
佐川呉服店
平市五丁目 電1486

四倉で母子が農薬心中
子供の不具を氣に病む

子供の不具に対し姑につらく当たられるのを苦にして母子心中を遂げるという事件が十七日農繁期で忙しい四倉町の農家で発生、姑と嫁をめぐる大きな問題として反響を呼んでいる。

同日午前四時二十分ごろ四倉町戸田字蛭田二十三古市文郎さん(三五)の妻久子さん(三五)と長男の稔ちゃん(三つ)が自宅わき納屋の二階で農薬ニツカリンを飲み下して母子心中をしているのを発見平署に届け出た。同署では直ちに係官が現地に向い原因などを調査しているが久子さんは去る十五日昼前に家を出たまま行方不明となつていたが夫の文郎さんはまた実家の四倉町本町佐藤宇平さん宅に行つているのだろうと思つて気にも止めず、自分の実家に帰つて農繁期の手伝いをして十七日帰宅してみると平常梯子がかかつていない納屋にはしごが立てかけられているのをみて不審に思い調べたところ久子さんと稔ちゃんが死んでるのを発見したもの、二人が死んでいた納屋は名ばかりで物置と同様、二階もまた差し渡しの上にむしろが敷いてあるというもので死体は悪臭を放つていた。原因については近所でも色々と言われているが両人は四年前の春に晴れの結婚式をあげ間もなく稔ちゃんを生んだがその後夫婦間は喧嘩一つしたこともなく円満な家庭で田を四反歩持ち、また夫文郎さんは大工の手職を持つており、生活も中流以上であるこの円満に反して稔ちゃんが耳は遠くまた口もきけないという不具な身のうえで、これに対して夫の実家である大浦字長友にいる姑のフサさんが家にくる時は稔を連れて来ては困る。足手まといにもなると常日頃云つていたので久子さんはこれに対して心中暗いものがあり、母子心中をして苦しみを精算しようとしたものともみられている。

また死亡の日時は調べによると十五日朝から九時ごろまで洗たくをしていたことから正午ごろニツカリンを飲んでいたものとみられ、文郎さんも実家に帰つていたので発見が遅れたものである。事件を聞いた近所の人達もあのように円満だつたのに何故死なねばならなかつたのかと同情しているが、結局は姑たちの嫁いびりがこの不祥事を起させたものともみられている。（写真は久子さん）

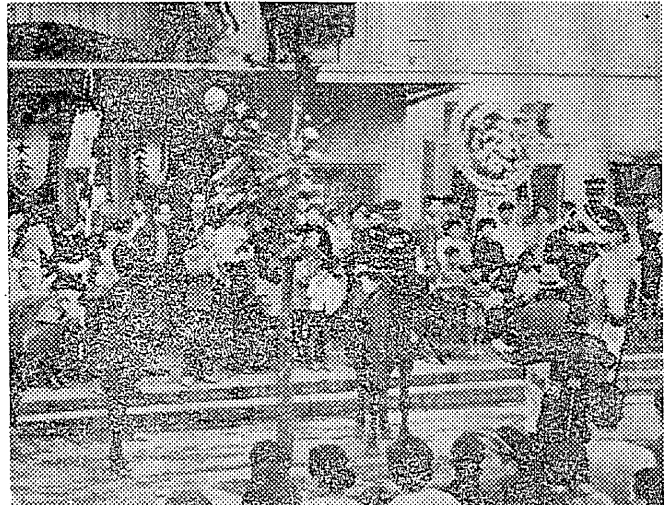
実姉クマ子さんの話 「私たちも何故死んだのか判らない。思い当ることと云えば稔が不具者で夫の母がこの不具をひどく責めていたことからこれを苦にして心中したものとみられている」

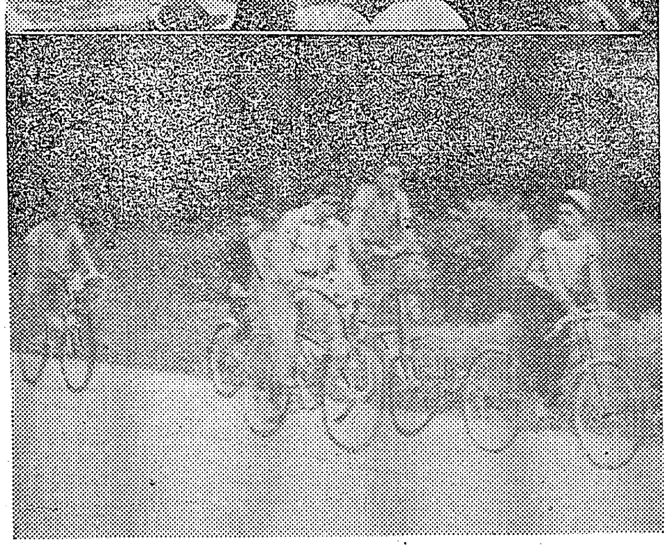
近所の人の話 「古平さん宅は夫婦仲も良く喧嘩一つしたこともありませんし子供の不具を苦にしたのでしょう」。

四支庁案決る
機構改革審議会で

一昨年県の機構改革で新しく看板を塗り替えて発足した石城財務事務所は一年九カ月になるが、その結果それぞれの出先機関は県の各部直属の事務系統に一転してタテ割り行政となり旧地方事務所当時と比べ役所の権限を大巾にケズリ取られて地方行政は停滞気味を続け地方民はじめ各市町村からも批判の声が強くなつた。このため県でも再改革案に着手権根のある出先機関の復活をはかるため、四支庁案、旧地方事務所案を検討していたが、きよう十七日開かれた機構改革審議会で北支庁（福島）南支庁（郡山）会津支庁（会津若松）浜支庁（平）の四案に決定、来る県議会で審議することになつた。

なお四支庁案の実現は九月一日ごろから実施されるのではないかと見られている。





明治天皇も一役
ひかり座の奇抜な宣伝

きのう十六日、天皇旗を先頭に白馬に乗つた礼装の明治天皇はじめ侍従長、近衛兵など五騎がひずめの音も高く軍歌「露営の歌」とともに平市内の目抜き通りを練り歩き、平ツ子をびつくりさせた。

これはきのうから「ひかり座」で県下初封切りされた新東宝総天然色シネスコ映画「明治天皇と日露大戦争」の宣伝隊で、出発点となつたひかり座前には大本営そのままに紫の幕と大提灯が立てられ、菊の御紋章まで飾られるこり方とあつて物見高い市民がワツと押しよせ大変な混雑ぶりだつた。

なお同館ではさらに日露大戦に参加した生き残りの勇士？を招き菊の紋章の入つた恩賜のタバコや菓子、清酒などを贈つた。

（写真上はひかり座前の明治天皇一行と押し寄せた市民たち）

ダム築いて防ぐ
磐崎礦でまた出水

十六日午後七時三十分ごろ常磐炭礦磐崎鉱中部右二斜坑右二片採炭切羽から突然毎分五百立方メートル（十五トン）の地下水が流出した。十七日正午現在水は毎分三百立方メートルに弱まつたが依然として流出が続いているため、同砿では保安要員百六十人を動員して排水作業に当つている。

同砿は去る四月十四日にも左一斜坑から水が出ており礦の坑内といわれているだけに損害も多額にのぼる見込みで、復旧までは二カ月かかると見られる。

水の出た場所は坑口から約二千五百メートルの地底から流出したもので湧出した出水は十七日正午まで坑底から二百米まで埋没した。このため保安要員はポンプ数台を取付けて排水作業を昼夜兼行で行つているが、湧出した地下水は温度五十八度という温泉水であるためポンプが熱のために揚水出来ずに作業は困難をきわめている。このまま進めば他の坑口へ流水する恐れがあるので、十七日朝から右二斜坑中間にダムを築いて出水をふせぐ作業を続けている。

なお現場には鉱山保安監督部平支部から村上監督官らが現場に急行、一方同砿からは越智所長小林技術部長らが現場で原因、損害を調べているが同砿の調べでは損害は一億円を上廻るものと見ている。

七十名参加
サイクリング

平自転車商組合では昨日十六日第一回サイクリングを盛大に挙行した。当日は午前八時半までに平市役所前に約六十名が集合、折からの雨で出発する午前九時をはるか一時間遅れて午前十時市役所前を出発。平競輪課自動車を先頭に市内自転車業者（二十四名）と市内の若人約六十名がツアー車、タンラム車など一列従体につらりと並び市内（市役所前出発―新川町―五丁目―駅前―銀座通り―本町）を巡回、湯本、植田、勿来（勿来の関）を目指して疾走した。

○…当日は運悪く朝から小雨に降られ本日の催もどうかと心配されてか、参加申込み約百名に対して六十名が参加、市役所前で伊藤助役の挨拶があつた後、鈴木競輪課長からリーダーの指示に従うよう注意を述べ、軍艦マーチ、サイクリングのレコードも勇しく勿来の関を指して出発した。

○…平―勿来間往復五十二粁をツアー車のペダルも軽く、なかでも高車（普通車より高い）が街行く人の目を引き人気を拍した。また勿来市の水族館を視察同館前で素人のど自慢大会を開くなどなごやかな風景が見られ楽しい一日サイクリングを過した。

（写真下は勿来市金 山峠で）

更に四名を逮捕
競売の不正談合で

平署は競売にからむ不正談合罪を追求していたが、十七日になり更に平市正月町十九木材業滝口寅雄(四三)同市正月町二四木材業鈴木孝平(三五)遠野町滝字里保八農業荒川久(四三)平市仲間町十七大泉末吉(三九)の四名を逮捕した。これで談合罪による逮捕者は十名となつた。

調べによると去る三十一年四月十二日に地裁平支部で行われた遠野町荒川久馬の山材約五千石（当時で時価一千万円）の競売に関して滝口寅雄に落札させるよう談合、これに対して滝口は現金約九十五万円を談合金として与えて三百六十九万円で落札したもので、ほかに余罪が相当あるものとみて追求している。

レールの下敷で死亡

十六日午前十時二十分ごろ磐城市日星製作所作業員山口政吉さん(四三)は泉駅から同市林ノ上日星製作所までレールを運搬、レール置場でトラツクから下ろしているときトラツクから崩れ落ちたレールの下敷となつて重傷を負い、附近の病院に担ぎこまれたが同午後五時三十五分死亡した。

大谷石 井上 平五電66

列車から飛び降り重傷

十七日午前一時十八分ごろ常磐市上湯長谷長倉七二常磐炭鉱習技生吉田雄男さん(一九)は同夜内郷からパーテイーの帰り上り二二列車に乗り湯本駅で降りようとしたが乗越し同駅発車して二百米地内で飛降り、左足首、片など骨折、内郷労災病院に収容したが、二カ月の重傷。

ご馳走の独占 禁止法通過す

支那そばとライスカレーは一般食でカツ丼はご馳走の部、うなぎ丼は天上のものとあきらめていましたが今や簡単に手のとどくものとなりました。

○うなぎ丼 八〇円
○ライスカレー 五〇円
○カツ丼 八〇円
火曜サービスなす味噌漬二八円

越 藤越 小名浜 平市

肖像画 入用
女子習生 ◇年令十六・十七才の方 三名
平市五丁目 菊水画房

食器洗いに！野菜果物洗いに！
（厚生省日本食品協会推奨）
ライポンF を御奨め致します
☆食器洗いに 水洗いだけで取れない脂肪性や澱粉性のよごれや又ばい菌等は浸しただけで綺麗に除かれます
☆野菜果物洗い 果物や生で召上る野菜漬物用の野菜等は「ライポンF」でお洗いになると蛔虫や大腸菌又附着している有害な農薬などよごれと共に簡単に除かれ安心して召上れます
一八〇g 丸筒入 五〇円
◎御電話次第迅速配達いたします
代理店 太丸屋 平市三丁目 電三

看護婦 家政婦 の御用命は…電三〇七番へ
労働大臣認可 平看護婦家政婦斡旋所
当派出多忙＝看護婦・家政婦＝募集

きそばと寿司 宴会場の酒喜庵 デンワ一七一

夏家具一式
▽最新型洋服タンス・ベビータンス
▽冷蔵庫・ハイ張・椅子・各種陳列
平指定商 加盟店
平地区福対協指定店
電気通信共済会指定店
自家製造の店
伊東家具店
平市新川町 電四六四
◎募集 技術優秀な工員数名 高給待遇致します 工場 平市大町二九—三〇

厚生医療指定病院
財団法人 竹林病院
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八二一番
分病棟 平市小太郎町十三番地 電話 一二七四番

笛の詩

97

絵巻の章

26

絵と文　谷田部風太郎

「ほう。今度はフタもあるんじやね。」

船長は、小さなほ立ての貝がらを、手の平の上でころがして見た。

「ね、おじさま。お願いしますわ。」

「わかつたわかつた。明日のら……。」

船長は、手の貝がらをポケツトに入れてから、机の中を手でこそ〴〵とまぜ返へして、ウイスキーの小壜を取り出した。

それはまるで、啓介が発つた時のそれと同じ調子であつた。

「私 にも、くださらない。」

『え！米坊が、のむのかね？」

「ええ。たつた一度、飲んだことがあるのよ。先生と、二人で………。」

「ふうむ。」

二人はお互に、一つのキヤツプをとりかわしては口へ運んだ

やがて、酔つた船長は、いつかと同じ様に、いかゞわしい外国語で どこかの船唄を唄いだした。

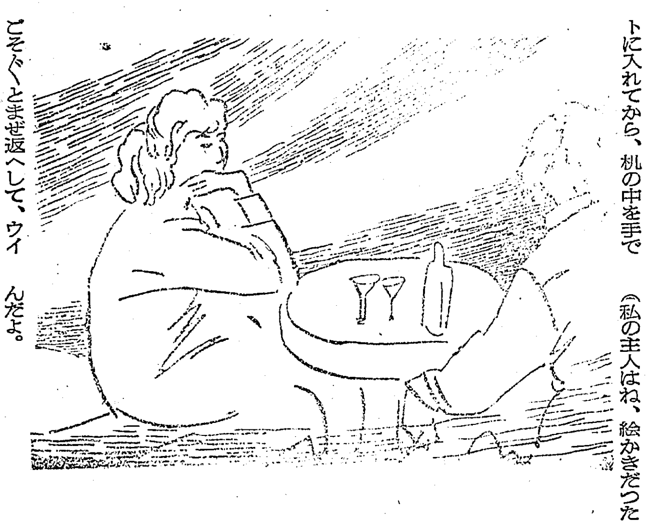
「おじさま、いつまでも、お変りにならないのね。」

米子は、一人言の様にそう云つて、白い鼻ひげをつく〴〵と眺めて居た。

真白い船は、すみきつた晩秋の空の下を、しずかに西へ走つて居る。

啓介が、フリユートを沈めた海の上を、今、船が走つている。

管の中に、啓介の過去のすべての詩を、ぎちぎちとつめこんだフリユートは、今頃、深い深いオホーツクの海の底で、群らがる魚共に、啓介のものがたりを聞かせて居るかも知れない。



（私の主人はね、絵かきだつたんだよ。

主人の過去は、それは〳〵、とても数奇な出来事ばかりが続いたのさ。そんな中に育つて来てずい分苦しんだのだよ。

そして、つい二三日前。主人はやつと、過去のおそろしさに気づいたのさ。

そして私を、白い船のデツキの上から、ポトンと、ここへ捨ててしまつたのさ。

人間は、暗い夜、一人で淋しい路を歩いて居ると、何か恐ろしいものが、後から取びついて来るんじやあないかと、怖くなる事があるんだよ。私の主人は、ちようどそんな時の様に過去が怖くなつたんだよ

私は、捨てられてがつかりしたよ。なぜつて、もう、主人のこれからを見ることが出来なくなつたからさ。

だけど、主人は今頃、ほつとして居るよ。どこへ行つたかなあどんな絵を描いてるだろう。

君達。退屈になつたらいつでも来給え。

私が、人間の、面白いものがたりを、いくらでも聞かせてあげるから……。）

フリユートは、海の底で、魚共を相手に話して居るだろう。

啓介の過去の詩を、思い出し思い出し話すであろう。白い船はどん〳〵西へ走つていた。

（つづく）

北海道に新漁場

水産事務所、出漁船募る

平水産事務所は北海道庁からの通知により十四日から北方海域のタラ。ハエナワ漁の出漁船を受付けている。これまで北海道沖合のタラ。スケソウタラ。ハエナワ漁は自由操業だつたが、北海道庁水産課で調査した結果企業的に採算のとれる新漁場と認め、北方海域の操業を今春四月一日から道庁知事の許可制としたもの。

許可条件は①北海道の漁業振興に協力するもの②許可の期間は一年以内とする②総トン数三十トン以上の漁船

なお漁期は四月一日から一年間とし花咲、くしろ港を根拠地に千島沖合をふくむ東カム、網走、紋別稚内港を根拠地に西カムをそれぞれ操業区域としている。

本県の該当船は七十隻、これまで九月から三カ月のサンマ漁が主な仕事で底引漁権を持つていない多くの漁業者は、年間の四分の三を北海道、青森、宮城県の業者に船を貸し、安いチヤーター料で安んじていただけにこの新漁場出漁にはかなりの期待がかけられている。

遠藤、上面組勝つ

軟式卓球選手権県予選大会

全日本軟式卓球選手権県予選大会は十六日平工高体育館で開き、一般男子では遠藤、上面（石城）混合複で佐藤、片倉（石城）同女子高橋、片倉（石城）ベテランでは信沢（石城）がそれぞれ優勝した戦績次の通り。

◆一般男子複準決勝

遠藤 上面（石城）3−1山寺 萩尾（県南）

金沢 小河原（県南）3−1大内 大内昭（県北）

◆同決勝

遠藤 上面（石城）3−2金沢 小河原（県南）

◆一般女子単準決勝

小林（会津）3−2片桐（会津）

松崎（相双）3−1井上（会津）

◆同決勝

小林（会津）3−0松崎（相双）

◆混合複準決勝

佐藤 片倉（石城）3−0鈴木 松崎（相双）

遠藤 高橋（石城）3−2棚木 松本（会津）

◆同決勝

佐藤 片倉（石城）3−2遠藤 高橋（石城）

◆女子複準決勝

小林 井上（会津）3−1台内 松崎（相双）

高橋 片倉（石城）3−0片桐 松本（会津）

◆同決勝

小林 井上（会津）3−0高橋 片倉（石城）

◆ジユニア決勝

佐藤（県北）3−0高宮（石城）

◆ベテラン決勝

信沢（石城）3−1渋沢（石城）

◆一般男子単準決勝

山寺（県南）3−2佐藤（相双）

草野（相双）3−0相沢（相双）

◆同決勝

草野（相双）3−0山寺（県南）

二名が死傷

酔どれ三輪車追突

酔つて三輪車を運転、トラツクに追突して同乗者が即死、運転手が軽傷を負うという事故が勿来市に発生した。

十六日午前一時十分ころ勿来市植田小浜町中の作二八五運転手布施宗寔（三九）は酒に酔つて三輪車を運転、同市錦町下館三八地内国道にさしかかつた際、道路左側に停つていたトラツクに追突してそのはずみで助手台に乗つていた同市植田町佐藤川崎農布施幸男さん（三八）はふり落されて頭がい骨折で即死した。また運転手の布施も頭に全治三週間の打撲裂傷を負つた。

銘菓 [illegible]最中 平凡

列車妨害をなくそう

一般に呼びかく

農繁期の六、七月は農家は留守がちとなり、子供たちも放任されるせいか、この季節になると子供による列車妨害事件が多くなるので平鉄道公安室では六月中を「列車妨害防止の準備期間」として次のような点に重点をおき防止運動を実施することになつた。

①列車防害事故発生の多い場所や発生を予想される場所に対しては保線区職員の巡廻を強化する②通信線や自動信号機の配線など盗難の多い場所には張込みを強化する③橋梁や駅構内、沿線などの線路通行者の多いところには通行禁止の立札を立て、特に危険なところには柵を作つて取締を強化する④踏切の警備を強化する。

なおこの事故防止を更に徹底させるため、講演会や座談会、映画会などを催して沿線各部落や各種団体の協力を求めることになつた。

お酒　一良久　平市五丁目電七三八

表彰者など決る

平地区安全衛生協会

平地区安全衛生協会（会長秋竹守一氏＝品川白煉瓦工場長、事業場百十）では十四日午後二時から平労基署会議室で理事会を開き、約十四名が出席して七月一日から一週間全国的に繰広げられる安全週間中の行事を協議した結果、九日午後一時から平商工会館ホールで地区大会を開き、席上次の十五名を功労者として表彰することになつた。また十五日から安全週間にちなんだ川柳を募集することに決めて同五時散会した。地区大会では功労者の表彰と労基署で選んだ優良事業場の表彰、川柳入選者の発表と賞品贈呈があるほか、二事業場の研究発表と福島労基局長中島行夫氏の講演がある。また七月二日は郡山市で県下大会があり平地区関係の表彰者三名を理事会で推薦決定した。労基署で表彰する優良事業場は二十四日ごろ決定する。

▽功労者＝鈴木太作（大成建設株式会社呉羽作業場、労務係）木村幸一（東化電力株式会社平営業所、電工長）高橋清一（小名浜運送株式会社、通運係長）砂金栄（呉羽化学工業株式会社錦工場、薬品課ＤＤＴ係職長）貝瀬康哉（呉羽化成株式会社錦工場、製造部合成第一課長）結城孝力（株式会社大阪造船所平製鋼所、組長心得）宇佐美勝正（東北ネジ製造株式会社、技術係）猪狩嘉隆（平駅、電信掛）本多昇（平機関区、機関士）柳町一人（常磐炭砿株式会社常磐製作所、鋳鋼手）新妻徳寿（常交通株式会社、タクシー配車主任）中村勝信（日東専売公社小名浜工場、組長）横沢隆夫（日本水素工業株式会社小名浜工場肥料課製造係長）木村喜孝（福島産業株式会社、製缶工場副職長）鈴木一沢（磐城セメント株式会社四倉工場、鉄工部役付工員）▽県大会に表彰推薦＝太田明（品川煉瓦株式会社湯本工場ノズルストツパー部組長）河野智（日本水素工業株式会社小名浜工場、容器検査主任）田口勝雄（小名浜臨港鉄道株式会社、駅長）

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

六、〇〇　子供ニユース

六、三〇　一丁目一番地

六、四〇　スポーツ便り

六、四五　民謡のしおり

七、三〇　三つの歌

八、〇〇　お父さんはお人好し

八、三〇　私は誰でしよう

九、〇五　ニユース解説

九、一五　捕物シリーズ

九、三〇　民謡をたずねて

一〇、一五　街頭録音

◆ラジオ福島

六、〇五　トニーの童話

六、一五　赤胴鈴之助

六、四〇　永遠に答えず

七、一〇　録音ニユース

七、一五　人情夜話

七、三〇　メリー花形演芸会

八、〇〇　名人演芸会

八、三〇　歌の遊覧船

九、〇〇　ダンセツト映画劇場

九、三〇　ロムビアアワー

一〇、〇五　名作アルバム

一〇、三〇　ガイドタイム

一一、〇五　時事解説

家具の　あるが　平銀座店電三三三　平四丁目店

今晩の映画

▼平文化ニユース　二十日マデ

ニユース

マンガ

太平洋戦争

はえ

▼世界館　十八日マデ

七、三六　赤胴鈴之助

八、三〇　二十九人の喧嘩状

▼東映劇場　十八日マデ

七、〇三　さけぶ雷鳥

八、三〇　殺人者を逃すな

▼平　館　十八日マデ

七、一〇　命も恋も

八、三〇　肉体の反抗

▼民　劇　十八日マデ

七、四三　象

八、三三　南極大陸

▼ひかり座　二十四日マデ

七、三五　ジヤングルと文明

八、一五　明治天皇と日露大戦争

▼聚楽館　十七日マデ

六、五〇　渡るべき多くの河

八、四五　三人の名付親

ナイトシヨウ

▼東映劇場　十八日マデ

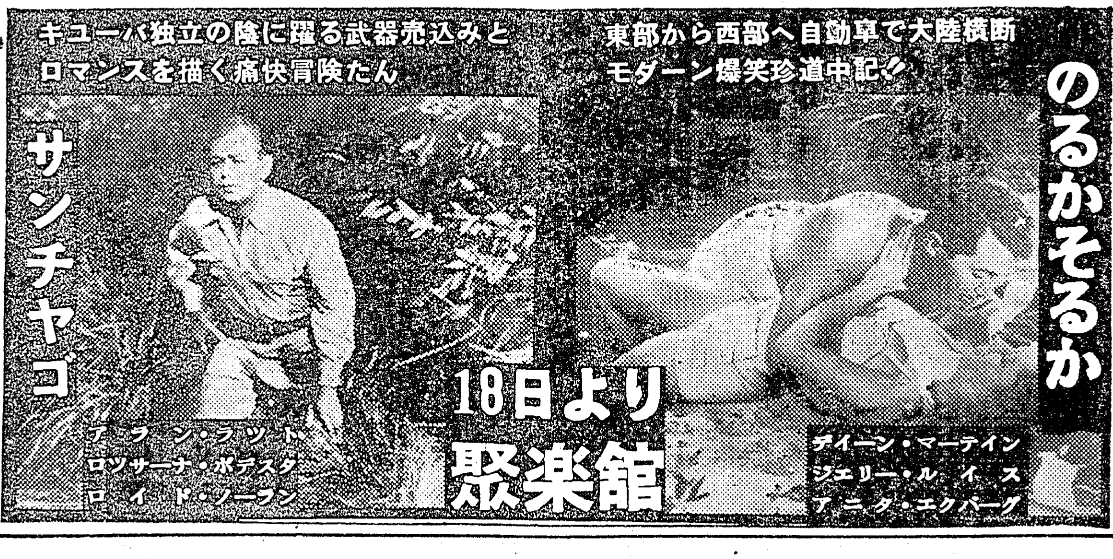
一〇、一〇　激闘の河

毛糸の宝石
ダイヤモンド毛糸
平銀座　ハシモトヤ糸店
TEL 小売部14卸部354

特選 牛・豚・肉
（福島ハム製品）
ハム・ベーコン・ソーセージ
の御用命は 電1726
イチバンナチム
★迅速配達の店★
広越肉店　平市田町10

新装開店
六月十九日
粗景進呈
酒蔵　ささぐく
電五四

街にみる…
ナシヨナル製
扇風機は　古山電氣　平2



キユーバ独立の陰に躍る武器売込みとロマンスを描く痛快冒険たん
サンチヤゴ
アラン・ラツド
ロツサーナ・ポデスタ
ロイド・ノーラン
東部から西部へ自動車で大陸横断
モダーン爆笑珍道中記！！
のるかそるか
ディーン・マーテイン
ジエリー・ル イ ス
アニタ・エクバーグ
18日より　聚楽館

御和洋料理酒
夏の栄養補給に
待望名糖
ニツポン生ビール
アイスクリーム
冷しそば
富士ランチ。御寿司
富士食堂
聚楽館前　電五六一・六七七
募集男子店員数名